

足立区立花保小学校
学校長 半田 英雄 様

足立区立花保小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 斎藤 太
評価部長 野間 一夫

平成27年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

(1) 重点的な取組1 学力向上について

児童の基礎学力の定着のため、本年度からスタートした「そだち指導」では、2名の指導員の特別配置によって2年生から4年生までの指導が適切にされていること、さらに日本語指導教員によるMIM（多層指導モデル）指導や算数少人数指導の充実によって基礎学力の定着が図られている。東京都と足立区の教育施策を上手に活用されているのがわかる。

日常の教育活動でも朝学習や放課後学習、土曜授業における補習や個別指導など全教員が熱心な取組を行っている。そのような取組の結果、足立区学力定着度調査での通過率（学校全体）が平成23年度は61.7%であったが、平成27年度は77.6%と向上している。この5年間は年を追うごとに上昇している。数値として結果を出していただき協議会としても喜ばしく思う。

(2) 重点的な取組2 保育園・幼稚園・中学校との連携について

地域の保育園・幼稚園との交流を積極的にされている。給食体験、図書室の読書体験、水泳指導見学、1年生が園児を招待しての交流遊び「わくわくランド」などの活動を通して小学校進学への期待を高めている。また、協議会委員の園長先生によれば、保育士と教員の交流もしっかりとされているとのことである。互いに学ぶことは価値がある。また、就学前の保護者や園児に対しての学校公開や学校説明会は、実にユニークで評判がいい。

花保中学校とは授業研究や合同研修を通して交流されている。小学校の授業が中学校の授業改善に役立っていると聞いた。花保中学校も安定してきている。中学校から小学校児童へのアプローチを増やすことで花保中学校への進学率を高められると考える。さらに教員同士、児童・生徒同士の交流を活発化させて花保小学校と花保中学校の評判を高めてほしい。

(3) 重点的な取組3 教師の指導力向上

「自ら考え学びあう児童の育成」を目指し全先生が切磋琢磨されていること、特に4年間の研究を行ってきた「算数」については、一人一人の先生が算数の授業力を向上されてきていることを、授業公開で実感した。「学校評価アンケート」の結果でも保護者の95%が肯定的な評価をしている。花保小学校の先生は向上心があり素晴らしい。

(4) 重点的な取組4 心の教育の充実

児童の豊かな心を育てるために、花保小学校では、QU調査やライフスキル教育、サンクスウィークなど特色ある教育をされている。「学校評価アンケート」の結果でも保護者の98%が「子どもたちが明るく楽しく生活している」と評価をしている。児童会活動の「花保小学校愛着大作戦」では児童自ら学校目標をつくりあげるなど、すべての活動が一人一人の自己肯定感を高めるためのものだと認識した。素晴らしいビジョンで取組まれている。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

あいさつボランティア、夏季学習教室の赤ペン先生、生活科・社会科の講師として授業への参加など学校の教育活動を支えることができた。さらにPTA活動にも積極的に関わり、昔遊び体験、ボードゲーム作りや七輪でのマシュマロ焼き等の楽しい活動を行った。また、土曜事業「花ほっ子クラブ」を主体的に運営することができ、多くの子どもたちに多様な体験をさせることができた。今後とも花保小学校を支援し、家庭への働きかけも積極的に行っていく。

3. その他

花保小学校の評判がすごくいい。一番に、子どもたちが明るく楽しく安全に学校生活を送っていることが保護者や地域からの評価を高めている理由である。協議会委員の私たちもその変容を実感し、意識が高まり花保小学校に、より愛着と誇りをもって活動するようになった。校長先生のリーダーシップと教職員方の真摯な努力とチームワークに敬意を表す。「開かれた学校づくり協議会」は今後も学校を応援していく立場で、子どもたちが学校や地域に愛着を感じ、誇りがもてるように、学校と地域の連携を一層深めていく。